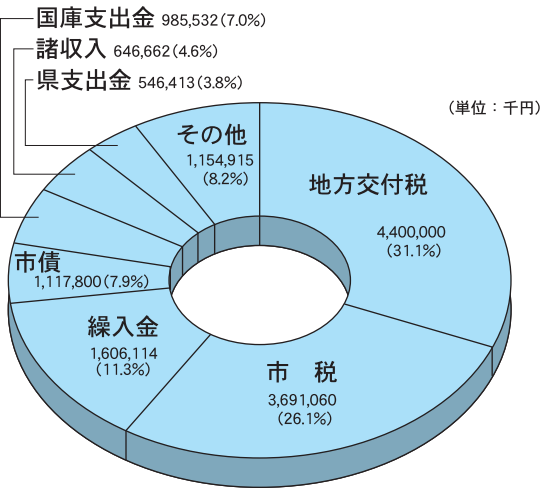


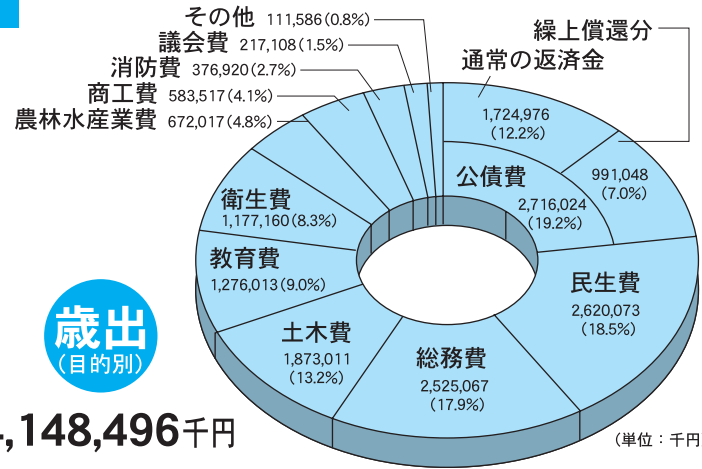
歳入 14,148,496千円

平成15年度予算

141 億円の使われ方



歳出 14,148,496千円



歳出 14,148,496千円

人件費	3,226,840 (22.8%)
公債費	2,716,024 (19.2%)
物件費	2,229,333 (15.8%)
繰出金	1,633,917 (11.5%)
補助費等	1,467,024 (10.4%)
投資的経費	1,085,889 (7.7%)
扶助費	965,658 (6.8%)
その他	823,811 (5.8%)
通常の返済金	1,724,976 (12.2%)
繰上償還分	991,048 (7.0%)

健全な財政運営を引き続き堅持

(優れた財政状況が認められ、平成13年度から白石市は、地方債の許可手続き簡素化適用団体【平成14年度は全国670市中、36団体】に入っています)

市の一般会計当初予算の総額は、約141億円となりました。歳入(収入)のうち、一番大きいのは国からもらえる地方交付税で44億円、全体の31.1%となります。次は、皆さんに納めていただく市税で約37億円、全体の26.1%です。

市民の皆さんのために行う事業の予算を歳出(支出)といいます。白石市では、市民の皆さんに満足していただけるサービスの提供に努めています。例えば、介護保険に該当しない高齢者に対する生きがいデイサービス、障害者のスポーツ施設の利用助成、育児支援策としてのファミリーサポートセンターの管理運営をはじめ、市独自のいろいろな施策です。ほかの市町村ではあまり行わない、市独自のサービスができるのは、白石市の財政が比較的順調だからです。

白石市の予算の一番大きな特徴は繰上償還です。市が必ず支払わなければならない借入金の返済は、17億円で予算の12.2%程度です。しかし、将来、私たちの子どもや孫に負担をかけさせないために、まだ返さなくていい分についてもどんどん返しています。これが繰上償還です。それが今年10億円ほどになっています。

繰上償還の総額は、平成15年度予定分まで含めると97億円ほどになります。7年度からこのように返していますから、碧水園、スパッシュランド、白石城などの借入金はずべて返し終わっています。

これら繰上償還のための資金は、繰上償還された借入金に対しても交付税措置があるため、それらの余裕財源などを積み立てていた預金を引き落としして充てていますので、福祉、教育といった通常の行政運営に支障はありません。このように、繰上償還のためにほかのサービスを削ることはないで、現在の市民の方に過大な負担を背負わせていることもありません。

ちなみに、繰上償還をしないで普通に返済した場合を試算して、どのくらい効果があったかを見ますと、およそ27億円もの利払いの負担が軽減されたこととなります。このように繰上償還により負担が軽減された分、住民サービス向上のためにより多くの事業を行ったり、継続的な繰上償還ができるのです。

歳出予算の主な事業は次のとおりです。

総務費

- 白石三本木線、白角線、大張線、越戸線、鎌先線生活路線バス運行委託および市民タクシーの運行経費に1,701万円
- IT社会に対応する情報化対策、

- アテネ(情報センター)の管理運営に1億1,213万円
- 国際交流員の設置やイタリア・アーナー二市との交流など国際交流事業に1,729万円
- スパッシュランド、碧水園、白石城などの管理運営に8,878万円
- ホワイトキューブのイベントや管

- 理運営の委託に2億240万円
- 市制施行50周年記念事業のイベントや年表の印刷代などに3,477万円
- 電子投票関係機器のリース料などに467万円

民生費

- シルバー人材センター運営費補助金に1,000万円
- 福祉タクシーや障害者スポーツの利用助成、デイサービス、ホームヘルプサービス事業など身体障害者福祉費に1億4,214万円
- 知的障害者ホームヘルプサービスや地域生活、施設訓練などの支援、福祉作業所やまぶき園の運営委託など知的障害者福祉費に2億6,200万円
- 生きがいデイサービス、自立者支援のためのホームヘルプサービス、ねたきり老人等紙おむつ給付、高齢者無料バス助成、配食サービス、バリアフリー住宅普及促進事業、シルバーハウジング生活援助員派遣など長寿福祉費に1億8,521万円
- 老人福祉センター、総合福祉センターおよび福祉プラザやまぶきの管理運営に4,753万円
- ふれあいプラザの管理運営など男女共同参画費に4,501万円
- 働く婦人の家の管理運営に792万円
- 児童扶養手当給付費に1億1,076万円
- 児童手当、乳幼児・心身障害児(者)医療費助成事業、児童ホームヘルプサービス支援事業など児童措置費に2億1,277万円
- 保育園、児童館、子育て支援センターの管理運営に5億8,859万円
- ひこうせん(心身障害児通園施設)の管理運営に1,277万円

衛生費

- 患者輸送車の運行や在宅当番医の運営委託に1,130万円
- 肺炎球菌ワクチン接種委託などの予防接種事業、健康診査、成人歯科検診、ガン検診、痴呆予防対策経費など市民の健康を守る経費に2億332万円
- まちをきれいにリサイクル運動報償金、ごみ分別ガイドブック作成、合併処理浄化槽の設置補助金など生活環境保全の経費に1億1,192万円
- 精神障害者小規模作業所の管理運営に609万円
- 歯科休日診療所の運営委託に273万円
- 精神障害者居宅生活支援など精神障害者保健福祉事業に277万円
- 市内全域のごみ収集委託に6,668万円

労働費

- 勤労青少年ホーム、勤労者体育センターの管理運営に3,046万円
- 雇用・失業問題に対処する緊急雇

農林水産業費

- 市民農園関係費、農業祭の負担金など農業振興事業に922万円
- 資源循環型畜産環境対策事業補助金など畜産振興事業に6,729万円
- 中山間地域等直接支払事業や農道、用水路、ため池整備など農村居住環境の保全と改善のための経費に9,696万円
- 食品リサイクル施設の管理運営に3,018万円
- 松くい虫防除、造林事業、砂押山線開設事業など林業振興経費に1億1,924万円

商工費

- 商店街の活性化に対する助成、こけしコンクール負担金、中小企業振興資金融資信用保証料補給、中小企業経営資金の円滑化を図るための貸付金など商工業振興費4億5,119万円
- 観光協会、春・夏まつりおよび観光振興のための助成など観光費に2,470万円
- 温麺の館、弥治郎こけし村の管理運営に948万円
- 除雪車の購入やゲレンデ整備工事などスキー場費に4,849万円

土木費

- 市道の改良、舗装、側溝整備など道路橋梁の整備や水門電動スライドゲートなど河川管理に2億8,955万円
- 緑地公園陸上競技場公認更新改修工事など公園の維持管理に6,030万円
- 沖の沢郡山線街路整備に5億5,991万円
- 市営住宅の維持管理に4,402万円

消防費

- 消防団の運営や小型動力ポンプなどの整備、防災対策としての白石市地域防災計画作成委託など消防費に3億7,692万円

教育費

- 定時制高等学校在学奨学金として143万円
- 小・中学校総合体育大会などの選手派遣の助成として250万円
- 小・中学校、幼稚園の管理運営に4億3,658万円
- 小・中学校生徒指導対策、特色ある学校づくりおよび総合的学習事業など教育振興費に6,135万円
- 外国人による英語指導事業に1,864万円
- 公民館、図書館、青少年相談センターの管理運営に1億8,009万円
- 学校給食センターの管理運営に3億3,866万円

特別会計

- 国民健康保険特別会計
32億176万2千円
(対前年比2億1,103万円増)
- 下水道事業特別会計
15億254万5千円
(対前年比1億8,109万5千円減)
- 地方卸売市場事業特別会計
379万5千円
(対前年比1万8千円増)
- 老人保健特別会計
45億2,376万円
(対前年比6,214万2千円減)
- 農業集落排水事業特別会計
4億3,750万7千円
(対前年比2億9,541万円増)
- 介護保険特別会計
17億5,468万1千円
(対前年比2億1,653万4千円増)
- 水道事業会計
収益的収入 10億4,149万9千円
収益的支出 10億3,804万4千円
資本的収入 3,000万円
資本的支出 2億4,881万2千円